



令和02年01月10日

農林水産部
 C S F対策チーム
 担当：中川、松岡
 電話：059-224-2027

野生いのししに対する経口ワクチン冬期散布を実施します

野生いのししによるC S Fウイルスの拡散を防止するため、令和2年1月19日から、桑名市、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市において、野生いのししに対する経口ワクチンの冬期散布を実施します。散布箇所数は、夏期の約1.5倍となる308箇所を計画しています。

1 経口ワクチン散布の概要

- ・時期 令和2年1月19日（日）から概ね5日間程度
 - ・場所 桑名市、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市にかかる
 養老山地・鈴鹿山脈の山麓及びその周辺地域 【別紙1】のとおり
 - ・散布予定箇所 308箇所に計6,160個の経口ワクチンを委託業者が散布
 桑名市：46か所 いなべ市：55か所 菰野町：45か所
 四日市市：60か所 鈴鹿市：50か所 亀山市：52か所
- ※散布ワクチン個数は、散布1箇所あたり20個。
 ※散布箇所数は、現場での冬期作業が危険である等、地点の状況によって調整する場合があります。

【参考 これまでの散布状況】

市町	散布回数（散布月）	散布箇所数（延べ）	散布ワクチン延べ個数
桑名市	2回（7月、8月）	20箇所（40箇所）	800個
いなべ市	2回（7月、8月）	60箇所（125箇所）	2,500個
菰野町	2回（7月、8月）	15箇所（30箇所）	600個
四日市市	2回（8月、9月）	47箇所（77箇所）	1,540個
鈴鹿市	2回（8月、9月）	30箇所（50箇所）	1,000個
亀山市	2回（8月、9月）	30箇所（50箇所）	1,000個
		計 202箇所（372箇所）	計 7,440個

2 散布後の対応

- ・散布実施の5日後（最も早い箇所では1月24日（金）以降を予定）から各地域で経口ワクチン回収を行い、野生いのししによる摂取状況を確認します。
- ・経口ワクチン散布地域を中心に、散布完了の10日後（最も早い日で2月2日（日）（予定））から、野生いのししのC S F感染の有無や、経口ワクチンの有効性を確認するため、調査捕獲を再開します。
- ・経口ワクチンは1期間に2回散布します。冬期2回目の散布は2月21日（金）から1回目と同じ箇所での実施（308箇所に計6,160個を散布）を予定しています。
 ※経口ワクチン散布実施スケジュールの詳細は 【別紙2】のとおり。

3 報道機関へのお願い

- ・経口ワクチンの散布については、野生いのししの誘引への影響やC S Fウイルスの拡散の恐れなどを踏まえ、必要最小限の人数で行う必要があることから、散布場所での取材については自粛いただきますようお願い申し上げます。

4 その他


- ・経口ワクチンは、国の食品安全委員会で安全と評価された成分や食品からできており、安全であると評価されたものです。
- ・C S Fは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に回ることはありませんが、仮に感染豚の肉を摂取しても人体に影響はありません。

三重県 野生いのししCSF経口ワクチンの散布地域

(令和元年度冬期予定)

経口ワクチン散布イメージ図

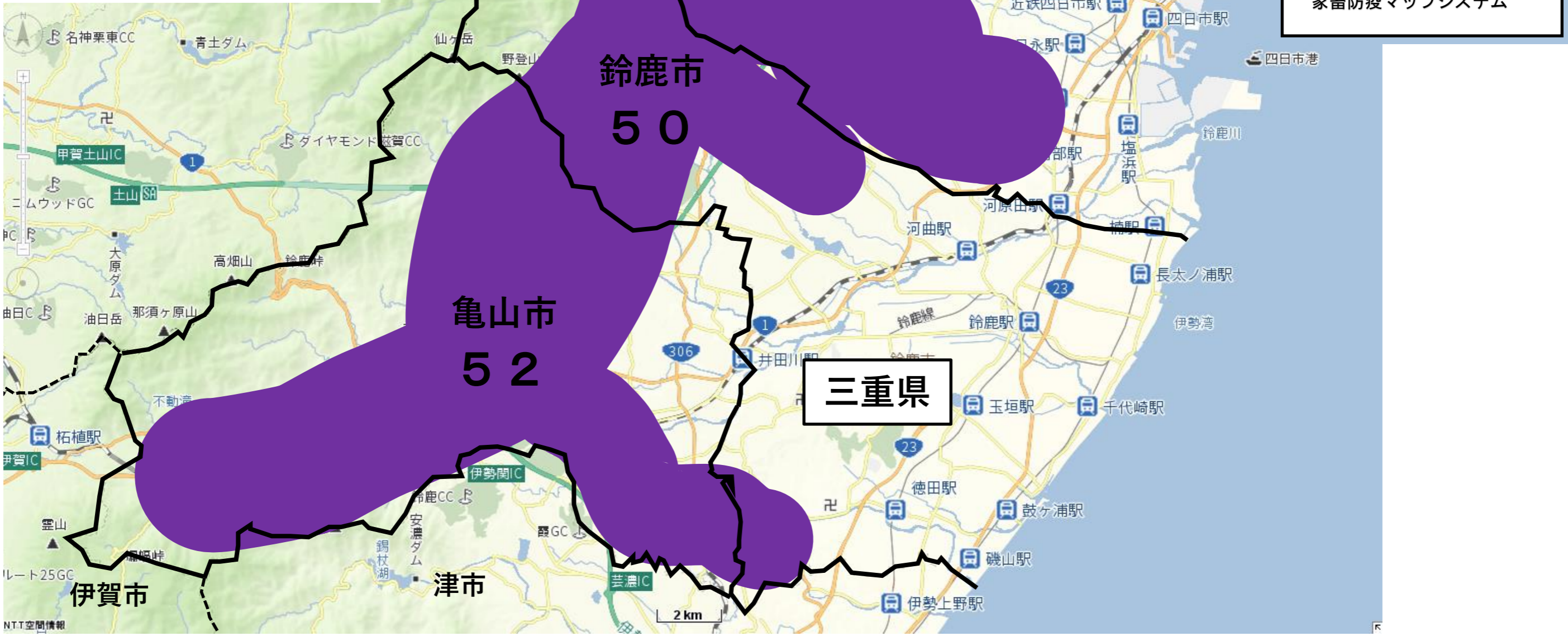
散布地域



桑名市
いなべ市
菰野町
四日市市
鈴鹿市
亀山市

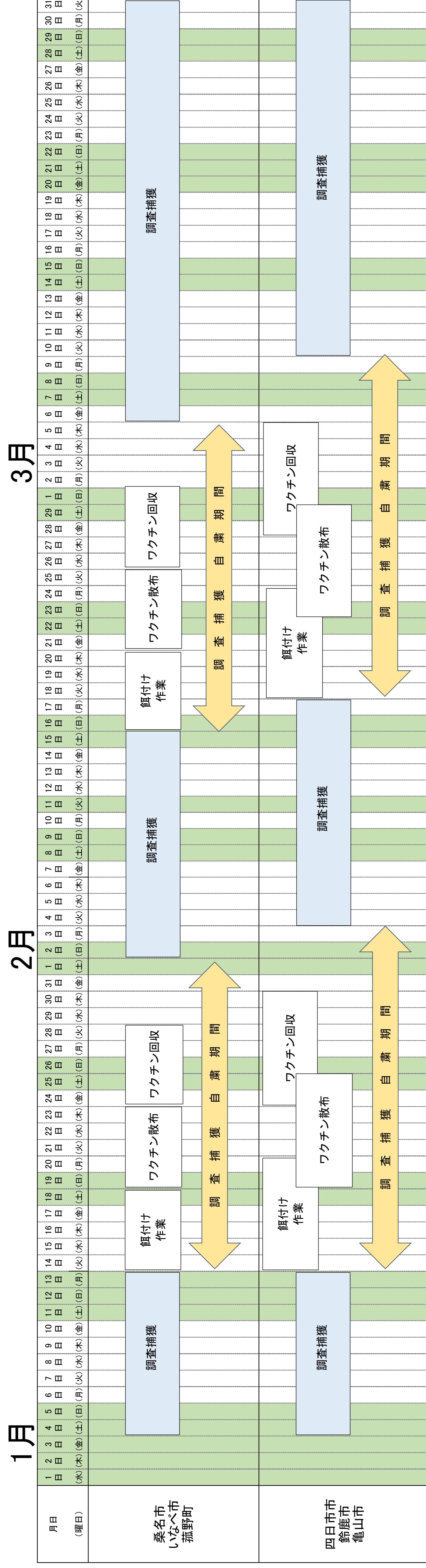
6市町

308地点
計6,160個
ワクチン散布
×
冬期2回散布



野生いのししに対する経口ワクチンの冬期散布スケジュール(令和元年度冬期予定)

別紙2



散布箇所の状況や、天候等の影響により、この計画通りにならない場合があります。